

自己導尿に関するYouTube®動画の検討

看護学科（老年看護学）

佐藤 理乃

●連絡先 TEL：054-202-2658
E-Mail：rino.sato@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

間欠導尿, 尿排出機能障害, 排尿ケア



近年では、患者が健康に関する知識を得ることを目的にSNSを利用することが増えています。SNSの一つにYouTube®は存在し、医学的情報が発信されていますが、基準と矛盾する、誤解を招く情報が含まれている可能性もあります。これまでに、本邦において自己導尿動画について検証された研究はなく、更には自己導尿手技に関する学会主導のガイドラインや動画発信は存在しないため、正しい知識と矛盾する情報が伝わる可能性が高い事が考えられます。

我々の研究チームでは2020年5月までにアップロードされた自己導尿に関するYouTube®動画の実態を調査し、その特徴とニーズを明らかにしてきました。今後、2020年5月以降の動画を含め再度調査し、動画の特徴と患者のニーズを明らかにし、ニーズに沿った自己導尿の情報提供や、自己導尿指導の動画作成に寄与していきたいと考えています。

研究の背景


自己導尿患者数、56,433人
(厚生労働省、2019)



患者が自己導尿の手技を習得したあと、医療者よる評価がされていない現状(Hagen, 2014)



SNSの動画はアクセスが容易であるため、**教育や動機付けを促進するための患者にとって重要なツールである**(McMullan, 2006)

佐藤理乃. 第29回日本排尿機能学会「多職種協働時代におけるCICのベストプラクティスを探る」2022

アピールポイント

患者さんが安全に正しい知識をもって間欠自己導尿を継続出来るための支援を、多職種で検討しています。一人でも多くの方々とこの問題を検討していきたいと考えております。